

千里中央駅地区

交通バリアフリー基本構想



豊中市

千里中央駅地区 交通バリアフリー基本構想

目 次

1. 目的及び位置付け	1
2. 選定理由	1
3. 位置及び区域	2
4. 地区の現況	4
5. 問題点と課題	7
6. バリアフリー化に関する基本的な考え方	11
7. 特定経路等	13
8. バリアフリー化の事業内容とスケジュール	17
9. 再整備に伴う対応	34
10. 長期的課題	35
11. 今後の進め方	36
12. 策定の経過	37
13. 附属資料	42

1. 目的及び位置付け

豊中市は、平成 14 年 6 月に交通のバリアフリー化の基本的な考え方と整備方針を示す「豊中市交通バリアフリー化の基本方針」を策定しました。この中で重点的、かつ一体的な整備が必要な駅周辺地区については、交通バリアフリー法に基づいて、基本構想を策定し、バリアフリー化を進めるよう定めています。

本「千里中央駅地区交通バリアフリー基本構想」は、これに基づき、北大阪急行電鉄千里中央駅並びに大阪モノレール千里中央駅周辺地区において、高齢者及び身体障害者など、誰もが安全で便利に移動できるようにするため、バリアフリー化に関する基本的な考え方と実施すべき事業を示したものです。そして、本構想に基づき、各事業者が、2010 年までにバリアフリー化事業を実施することとします。

なお本構想は、市民及び事業者の参加による「交通バリアフリー基本構想検討委員会」、「交通バリアフリーワークショップ」、現地点検調査、アンケート調査などの意見を踏まえ、策定したものです。

2. 選定理由

重点整備地区の選定は、市内 13 駅・11 地区を 5 つの視点から比較し、決定しました。利用者数、配置要件、課題要件及び効果要件を客観的に評価し、これに緊急性を考慮し、優先度を整理しています。

この結果に基づき、緑地公園駅地区に続き、千里中央駅地区の交通バリアフリー基本構想の策定に取り組みました。なお、本地区の 5 つの視点の概要は次の通りです。

(1) 利用者数

千里中央駅地区の乗降客数は、豊中市で一番多く、約 120,000 人で、特定旅客施設の要件である 5,000 人を超えています。

(2) 配置要件

高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、市役所出張所、老人福祉センター、公民館、図書館、映画館、百貨店、ホテル及びその他商業施設などがあります。

(3) 課題要件

北大阪急行電鉄千里中央駅地下改札階から地上及び 2 階デッキ階へのエレベーターがない等、様々な課題があり、バリアフリー化のための事業を実施する必要性があります。

(4) 効果要件

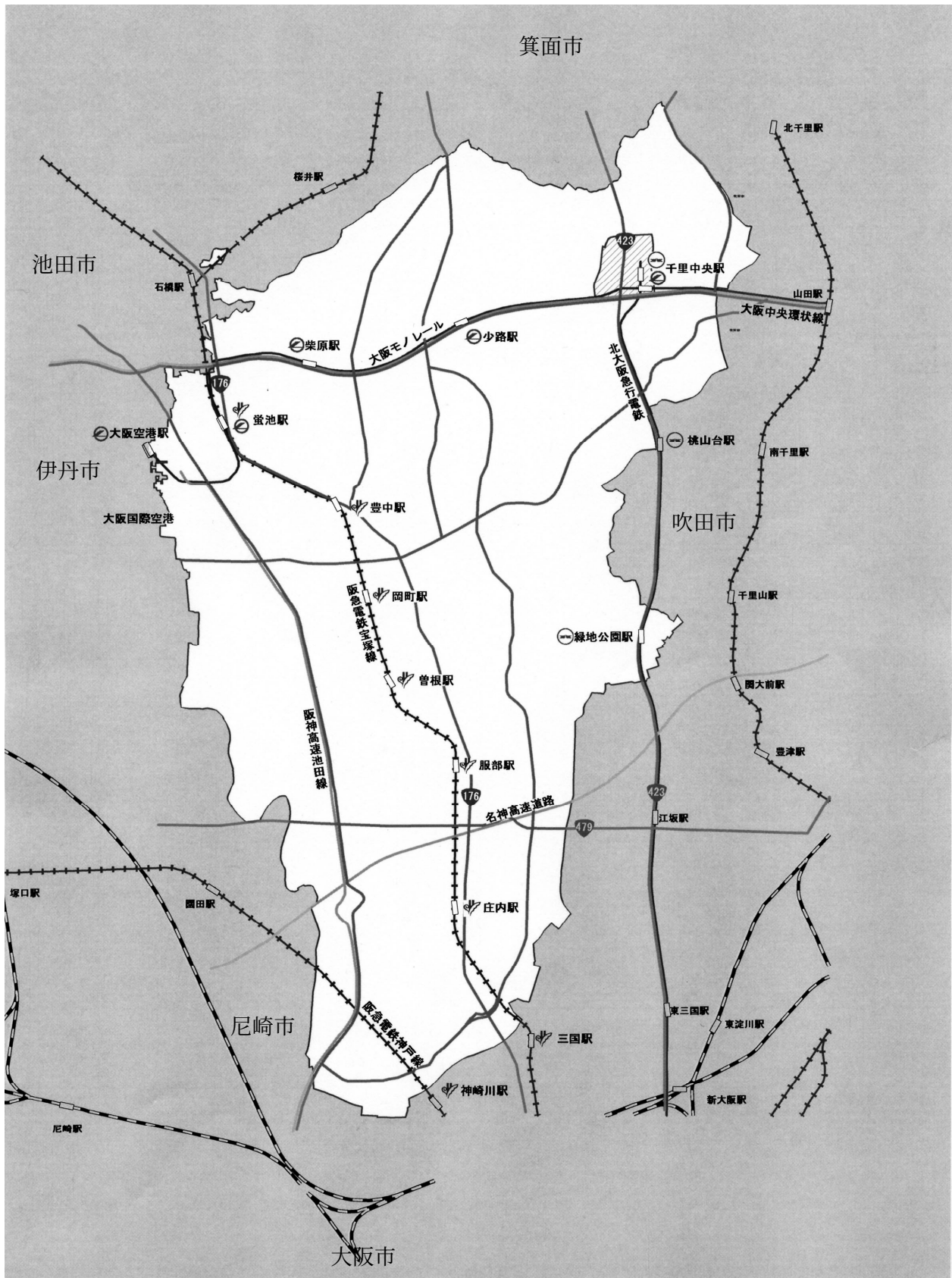
根拠法令・基準の異なる様々な管理者のバリアフリー化事業を重点的かつ一体的に実施することが、都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であります。

(5) 緊急性

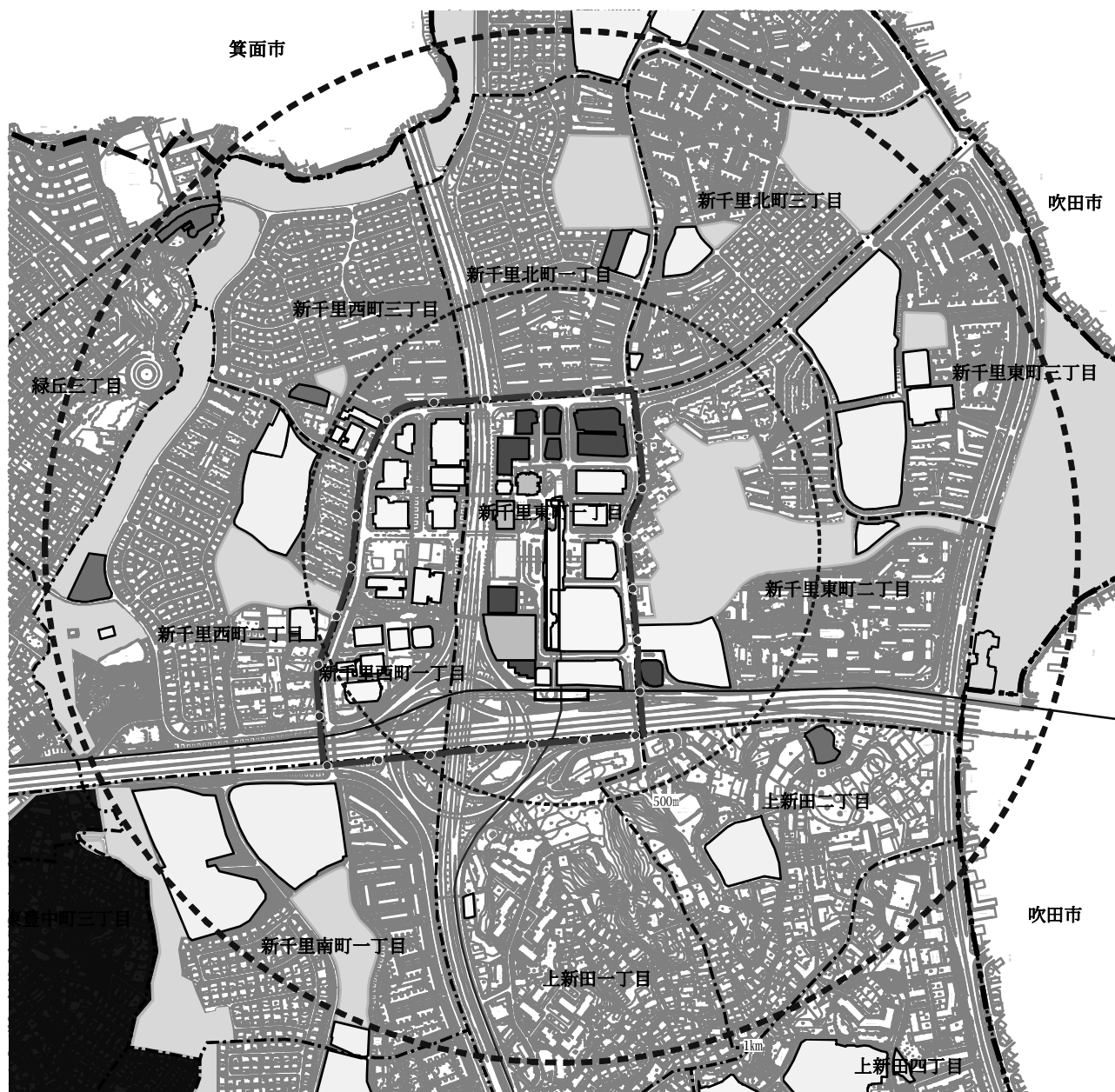
千里ニュータウンは、まちびらきから 40 年が経過し、平成 14 年 4 月現在の高齢化率は、23%と高く、高齢化が急速に進んでいること、本地区内的大阪府有地等の民間売却が予定されており、これに合わせて、バリアフリー化の考え方を整理する必要があることなどから、早急に基本構想を取りまとめる必要があります。

3. 位置及び区域

図のように「千里中央駅地区」は豊中市の北東部に位置し、新千里西町1丁目及び新千里東町1丁目により構成される区域（約35ha）とします。



図－1 位置図



図一 2 区域図

4. 地区の現況

(1) 概要

○位置づけ

北大阪の新都心として、また、豊中市の中心核として位置づけられ、商業施設、行政施設、文化施設、業務施設等が集積しています。

○沿革

昭和 30 年～40 年代にかけて、千里ニュータウンが開発され、昭和 45 年に新御堂筋、北大阪急行、商業施設などが完成しています。

○地形

地区全体として、南に向かって下り勾配となっており、地区北端と南端の高低差は約 60m です。このため、坂の多いまちになっています。

また、地区中央を南北に国道 423 号が、東西に大阪中央環状線が通り、地区を分断する形になっています。

○人口

本地区は現在、住宅がなく、人口は 0 人です。本地区周辺の新千里北町 1, 3 丁目、新千里南町 1 丁目、新千里西町 2, 3 丁目、新千里東町 2 丁目、上新田 1, 2 丁目の人口は約 26,000 人、高齢化率は約 18%（千里ニュータウンに限れば約 23%）です。

(2) 施設配置状況

本地区の施設配置状況は図－3 のとおりです。

(3) 交通施設の状況

○北大阪急行 千里中央駅

- ・ホーム
地下2階・島式1面（江坂方面）
- ・改札口
地下1階・中央北改札（自動改札機8）
中央南改札（自動改札機8）
北改札（自動改札機5）
南改札（自動改札機4＋車いす対応1）
- ・改札からホームへの連絡
エレベーター 1基
エスカレーター 上り4基
階段 4箇所
- ・改札から地上への連絡
民間施設であるせんちゅうパル内のエスカレーター又は階段を利用。
エレベーターはなし。
- ・乗降客数
約9万5千人

○大阪モノレール 千里中央駅

- ・ホーム
地上3階・高架・島式1面（大阪空港方面、門真市方面）
- ・改札口
地上2階（自動改札機5）
- ・改札からホームへの連絡
エレベーター 1基
エスカレーター 2基
階段 1箇所
- ・改札から地上への連絡
エレベーター 1基
階段 2箇所
- ・乗降客数
約2万2千人

○バス

北大阪のターミナルとして機能し、93系統あり、1日2,099便が発着し、1日約41,000人の乗降客がある。

(4) 地区の動向

- ・ 千里ニュータウンは、まちびらきから 40 年が経過し、高齢化が急速に進んでいること（高齢化率 23%）から早急に対応する必要がある。
- ・ 平成 12 年度に、国の「歩いて暮らせる街づくり」構想のモデル地区として、新千里東町地区の構想が取りまとめられ、バリアフリー化に対する気運がある。
- ・ せんちゅうパルや駐車場など大阪府と千里センターが所有する施設について事業コンペにより民間企業を選定して売却し、再整備を行う予定。これに合わせてバリアフリー化の考えを整理する必要がある。

5. 問題点と課題

本地区のバリアフリーに関する主な問題点と課題は下表及び図－4 の通りです。

箇 所	問 題 点	課 題
全体構造	・ 立体的に車と歩行者の動線を分離していることから、階段等の垂直移動が多い。	・ 垂直移動の負担軽減
	・ 千里中央センター地区は、開業以来 30 年以上が経過しており、現在のバリアフリー基準に適合していない。	・ バリアフリー基準への適合
	・ 様々な管理者の施設混在により、仕様が異なるための施設の使いづらさ。	・ 仕様の統一
	・ 国道 423 号や大阪中央環状線による地区分断に伴い、歩行者動線が限定されている。	・ 周辺地区からの歩行者動線強化
	・ 中央部と北東部間の動線の容量不足。	・ 動線の強化
	・ 北大阪急行の駅を中心に施設が集中していることによる、交通混雑の発生。	・ 施設配置や交通動線の見直し
北大阪急行	・ 下りエスカレーターがない。	・ 下りエスカレーターの確保
	・ 車いすにとって、券売機が使いにくい。	・ だれもが利用しやすい形態
	・ ホーム柵がない。	・ 転落防止の安全対策
	・ 男子トイレに障害者用がない。	・ だれもが使いやすいトイレ
	・ 誘導用ブロックが、わかりにくい。	・ わかりやすい誘導
	・ 改札から目的地までの方向がわかりにくい。	・ わかりやすい案内
大阪モノレール	・ エレベーターの操作ボタンが使いにくい。	・ 使いやすい操作ボタン
	・ 車いすにとって、券売機が使いにくい。	・ だれもが利用しやすい形態
	・ 車いす用トイレが狭く、扉が重い。	・ だれもが使いやすいトイレ
	・ ホームと電車に段差がある。	・ 段差の解消
バス	・ 乗降口の段差。	・ 段差の解消
	・ バス停がばらばらでわかりにくい。	・ わかりやすい案内
	・ 乗り場に点字案内がない。	・ 視覚障害者への案内

箇所	問題点	課題
バス	・迷惑駐車のため、バスが寄りつけない。	・迷惑駐車の前放
	・降車専用バスターミナルのスロープが急。	・スロープ勾配の緩和
	・第7駐車場南のバス停が通りにくい。	・歩行空間の確保
道路	・上新田地区との連絡ルートとなる北新田橋は、斜路付階段で、車いす等の移動が困難。	・バリアフリールートの確保
	・長谷北橋の階段が急、段差がある。	・歩道橋取付部の改善
	・なつめ橋は、車いすが通れない。	・バリアフリールートの確保
	・千里文化センターと第1立駐を結ぶデッキは狭い。	・デッキの拡張
	・なつめ橋～あすなろ橋間に柵がない。	・転落防止
	・歩道勾配が急。	・勾配の緩和
	・歩道橋等が暗い。	・歩道照明の確保
	・手すりがない、高さが違う。	・手すりの改善
	・舗装が凸凹、滑りやすい。	・舗装の改善
	・自転車が行きにくい。	・自転車走行空間の確保
	・車止めが、通りにくい。	・車いす幅の確保
	・点字ブロックがわかりにくい。	・わかりやすい誘導
	・交差点の歩道すりつけ勾配がきつい。	・平坦部の確保、勾配の緩和
信号	・横断歩道に、音声案内がない。	・信号の音響化
	・歩行者用青時間が短い。	・青時間の延長
自動車	・駐車場の案内や入り口がわかりにくい。	・駐車場の配置、交通動線、案内システムの検討
	・迷惑駐車が多い。	・迷惑駐車の前放
自転車	・駐輪スペースが少なく、利用しにくい。	・駐輪場の利便性向上
	・迷惑駐輪が多い。	・迷惑駐輪の前放
パルセルシー等	・改札口のある地下階と地上階、2階を結ぶ経路にエレベーターがない。	・バリアフリールートの確保
	・パルとライフを結ぶデッキに階段しかない。	・バリアフリールートの確保
	・パルから第1立駐へ向かうスロープが急で狭い。	・スロープの改善
	・2階デッキ上のスロープの幅が狭く、勾配が一定でない。商品搬入と共用。	・スロープの改善
	・手すりが高い、ない。	・手すりの改善
	・床面が滑りやすい。	・滑りにくい床面
	・点字ブロックが、わかりにくい。	・わかりやすい誘導
	・看板や商品のはみ出し。	・歩行空間の確保
	・行き先がわかりにくい。	・わかりやすい案内
	・トイレが狭い、臭い。	・トイレの改善

箇所	問題点	課題
タクシー	・客待ちのタクシーが、他の車や歩行者の通行を 阻害。	・迷惑タクシーの追放

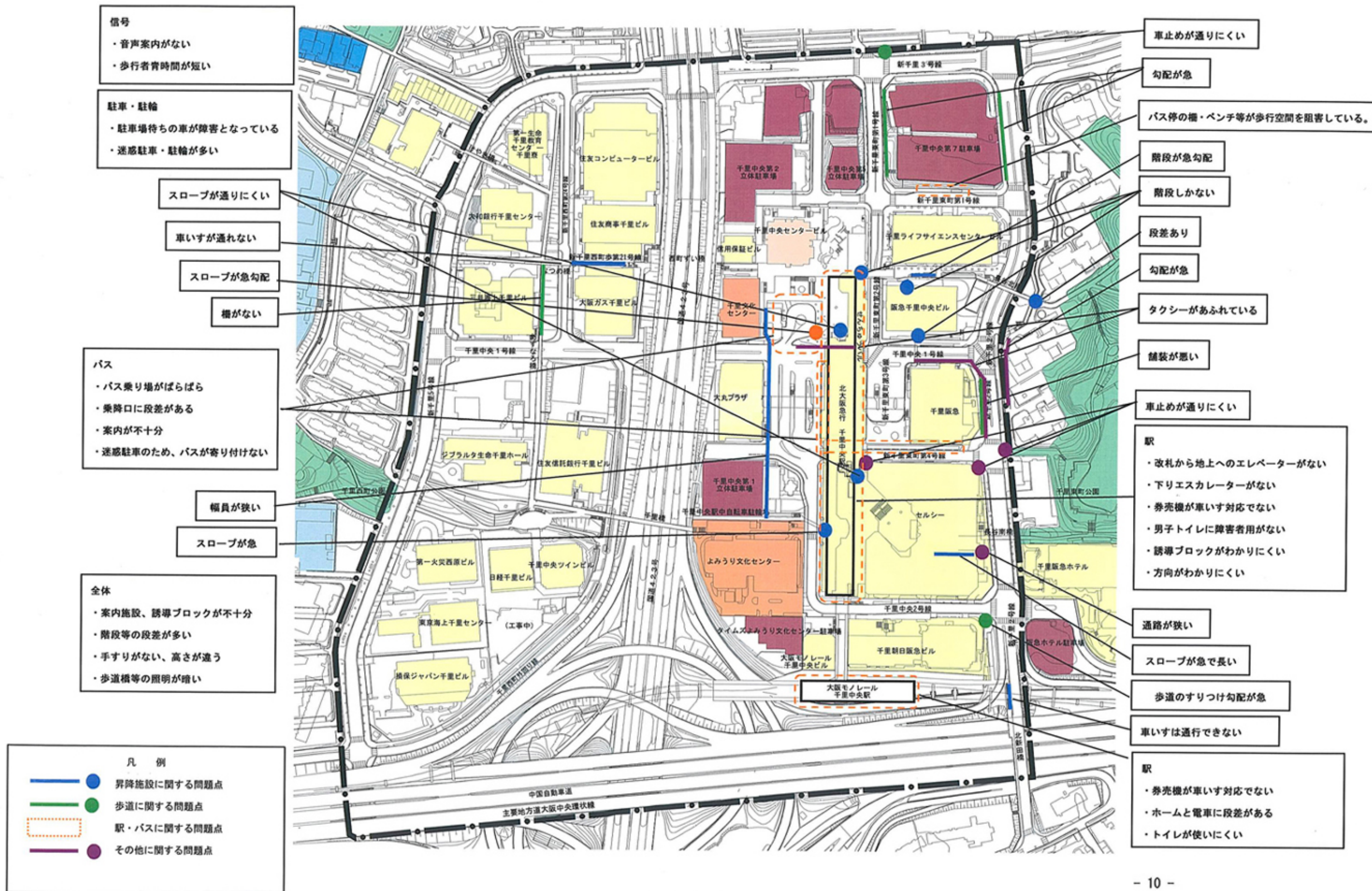


図-4 問題点図